若親分（1965）

メディア 映画
ジャンル 任侠・ヤクザ
製作国 日本
色彩 Color
時間 86分
初公開日 1965/03/13

【解説】
紙屋五平の原案をもとに「赤い手裏剣」の高岩肇と「座頭市関所破り」の浅井昭三郎が脚本を執筆し「忍びの者 続・霧隠才蔵」の池広一夫がメガホンをとった。市川雷蔵演じる若親分が高い評価を得てシリーズ化され、本作を含めて合計八作品が制作された。
明治末期、南条組の親分が闇討ちに遭い殺害された。葬儀に海軍の軍服姿で現れた一人息子の武は、やくざの世界に身を投じるのも男の生き方と、二代目を襲名して組を継ぐことにする。父殺しの犯人が滝沢組の関係者であると聞いた武は、滝沢組長の右手首を斬り落とした。しかし父の殺害現場で襲われた武は、本当の犯人が太田黒組の親分伊蔵だったことを知り、滝沢組長の前で手をつくのだったが…。

【クレジット】
監督 池広一夫
企画 斎藤米二郎
原案 紙屋五平
脚本 高岩肇
浅井昭三郎
撮影 武田千吉郎
美術 加藤茂
音楽 小杉太一郎
出演 市川雷蔵　南条武
朝丘雪路　京子
藤村志保　千代梅
三波春夫　桃中軒雲右衛門
山下洵一郎　高瀬俊介
成田三樹夫
佐藤慶
山田吾一
原泉
石黒達也
水原浩一
杉田康
伊達三郎
杉山昌三九
寺島雄作
浜世津子
桜京美

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.